

令和七年春季彼岸会（礼拝と法話の集い、並びに売店）ご案内

謹啓 草木国土の春、咲く花々による饗宴進行とともに、お彼岸が近づきました。この度も、入場制限なしの彼岸会（集い、並びに売店）を開催いたします。法話の講師を、平安時代も今も宗教的、且つ国際的な御山（おやま）・深山（みやま）である和歌山県高野山からお招きします。弘法大師の教えを伝える真言宗十八本山の一つが高野山真言宗であり、その中心的構成寺院である総本山金剛峯寺（こんごうぶじ）ご勤務の僧侶、教師・稲葉滋順師にお運びいただき、真言密教における往生・成仏の核心をご指導いただく運びとなりました。左記をご高覧のうえ、宗教・宗派の枠組みを超えて、和風仏教の大成果＝至宝の一つに、ぜひともお親しみいただきたく、ご案内申し上げます。 合掌

令和七年三月 北寄山明王院 宗教法人孝養寺 住職 稲津厚生（文責）

責任役員 坂倉正彦、高梨満、尾作淳一、稲津阿育

檀信徒各位

記

日時 令和七年三月二〇日（木・春分の日） 正午～三時十五分

場所 孝養寺本堂

次第 受付・昼食

正午より

礼拝・法話・懇談

午後一時より

閉会

午後三時十五分

＊簡素な昼食を用意します。礼拝までの間、早めにお召し上がり下さい。

◎法話

密教における「成仏」について

～即身成仏 そろそろ、成仏しませんか？～

高野山真言宗教師 総本山金剛峯寺国際局勤務

稲葉滋順 先生

【概要】仏教では一般的に、修行を通じて「成仏」するためには「三劫（カルパ）」と言われる途方もない長時間を要し、現世、今生での成仏は叶わないとされてきました。密教では「即身成仏」として、我々に与えられたこの身、この生の内での成仏を説いています。

弘法大師空海は一二〇〇年もの昔、東西の文化、人が往来する国際都市、長安で「世界」の広さ、多様性に触れました。そして、社会を幸福にする、そこに生きる人々が「成仏」するための「宝鑑（ほうやく カギ）」＝密教を高野山に遺しました。

国際宗教都市、高野山の一二〇〇年間の変遷と「即身成仏」の考え方をご紹介します。

【いなば じじゅん 先生ご略歴】 一九七五年、和歌山県高野山生まれ。玉川学園中学部に入学、玉川大学農学部農芸化学科卒。一九九八年に渡米、ニューヨーク市立ハンターカレッジでメディア学専攻。二〇〇四年に帰国し、高野山専修学院にて一箇年の修行。二〇一〇年から総本山金剛峯寺奉職、高野山開創一二〇〇年記念事業事務局にて広報を担当。二〇一六年より国際局配属。米国西海岸、ハワイ、ブラジル、台湾、オーストラリアに点在する開教寺院のサポート並びに高野山来山の外国人対応・国際布教に従事。

●売店情報

当日、本堂前の仮設テント内に、近隣の有志が生産・制作した農産物手芸品等の売店を開店します。ご利用ください

●墓参用供花

彼岸期間（三月十七～二十三日）には、お花をお求め頂けます。

●花まつり（お釈迦さまご誕生祝賀・感謝）自由参加

①町田市仏教会主催

四月二日（水）午後三時～四時半

レンブランホテル東京町田 地下1階

②孝養寺花まつり

甘茶供養 四月八日（火）

午前九時～午後四時

祝賀礼拝

右に同じ

午前十一時～約四十分間